

< ゲートボールとは >

ゲートボールは、古くからヨーロッパで親しまれてきたスポーツ「クロッカー」をヒントに、1947年に北海道芽室町の鈴木栄治さんが子供達のために考案した日本生まれのスポーツです。

今では、日本はもとより、世界50カ国以上の国や地域で1000万人が楽しむスポーツへと成長しました。

ゲートボールの魅力は主に3つあります。

① チームスポーツ

ゲートボールには、チーム全員で協力をしながら勝利を目指す面白さがあります。1人が抜きんで強くても勝てません。皆が力を合わせてこそ勝利を手にすることができるのです。「仲間」と切磋琢磨する楽しさは格別です。

② 戦略型スポーツ

単純にゲート通過を競い合うだけでなく、別のボールに当てる「タッチ」等を組み合わせて、自分のチームを有利にしたり、相手チームの進路を読みながらボールを進めたり、10個のボールの連携を考える戦術がとても重要となります。

③ ユニバーサルスポーツ

ここでいう「ユニバーサル」とは、年齢、性別、身体的状況、言葉等の違いに関係なく、全ての人を楽しめると言う意味です。ゲートボールは、常に走り回ったり飛び跳ねたりというスポーツではなく、「ボールを打つ」ことが基本動作のため、8歳の女の子と93歳のおじいちゃんがチームメイトとして、また、対戦相手として、同じゲームを楽しめます。また、身体障害を持つ人と持たない人が一緒にプレーすることもできます。